

のとじま水族館 能登の魚をぐっと身近に! 「のと海遊回廊」が大人気

ジンベエザメやイルカなど、さまざまな海の生きものを観察できる「のとじま水族館」では、本館の回遊水槽を今年4月にリニューアルした「のと海遊回廊」が人気を集めています。

のと海遊回廊には、広く全体を 観察できる一体型の大型水槽や半 円形の観察ドームがあり、能登半 島近海に生息・回遊する魚などを 間近に見ることができます。また、 日本海側の水族館として初めて、プ ロジェクションマッピングを常時投 影し、多彩な映像で来館者の目を 楽しませています。

魅力アップを続けるのとじま水族館のように、ふるさと石川もますます輝いていけるよう、県議会では、あらゆる角度から県政の課題について積極的な質疑を展開しています。今号では第3回定例会の様子を紹介していますので、ぜひご覧ください。



今 号 の トピックス Close Up平成30年第3回定例会

県産材の利用を促進し、森林資源の循環利用につなげよう!「石川県県産材利用促進条例」が施行

close up

平成30年

第3回 定例会

323日間にわたり開催 (

議員24人が登壇し、 県政の課題を徹底チェック!

5月29日から6月20日までの23日間、「平成30年第3回石川県議会定例会」を開催しました。本会議と予算委員会とを合わせて、24人の議員が登壇。各常任委員会でも県政の抱える課題や今後の見通しについて活発な議論が行われました。

会期日程

5月29日(火) 開会

6月 1日(金) 代表質問

6日(水) 一般質問

8日(金) 一般質問

12日(火) 予算委員会

14日(木) — 予算委員会 18日(月) 4 常任委員会

予算委員会(採決)

20日(水) 採決・閉会



2月の定例会、3 月の臨時会に続 き、今回が本年 第3回の定例会 となります。

質問者

代表質問 (6月1日) ····································	吉田 修 (未来石川)
一般質問 (6月6日) ····································	
一般質問 (6月8日) ····································	
予算委員会 (6月12日) ··········· 不破 大仁 (自由民主党) 一川 政之 (未来石川) 中村 勲 (自由民主党)	
予算委員会(6月14日) 吉﨑 吉規(自由民主党) 石坂 修一(未来石川) 八田 知子(自由民主党)	

議員提案の政策条例

県が条例を制定するには、提出された条例案を県議会で審議し、可決する必要があります。条例案は知事と議員のいずれも提出できますが、議員が提出する場合には、議員定数の12分の1以上(石川県議会の場合は4人以上)の賛成が必要となります。

県議会では、平成22年9月に議会の政策立案及び政策提言機能の充実・強化を目的に、9人の議員で構成された石川県議会政策調査会を設置しました。これまでに同調査会で議論し、立案した議員提案による政策条例が4つ成立し、今定例会では5つ目の石川県県産材利用促進条例が成立しました。県民本位の立場から、議員が地域住民などの要望を反映した条例案の提出がますます重要になっており、県議会として、今後も議員による政策条例の提案に取り組んでまいります。

1	いしかわの酒による乾杯を推進する条例 本県の酒による乾杯を推進することにより、いしかわの酒の普及や人との 交流、産業の発展等の促進を図る。	平成26年2月21日 平成26年2月26日
2	石川県歯と口腔の健康づくり推進条例 歯科疾患の予防に向けた取組や歯科検診等の環境整備を推進し、生活習 慣病の予防など県民の生涯にわたる健康の保持増進を図る。	平成26年6月20日 平成26年6月25日
3	石川県がん対策推進条例 がんの予防、がん治療、がんとの共生、がん対策の推進に関する事項を定め、県 民が生涯にわたって安心して暮らすことのできる健康長寿社会の実現を図る。	平成28年3月22日 平成28年3月25日
4	石川県スポーツ推進条例 生涯にわたり、あらゆる機会と場所でスポーツに親しみ、スポーツ活動等を推進 することで、県民の心身の健全な発達と活力ある地域社会の実現を図る。	平成29年6月29日 平成29年7月4日
	石川県県産材利用促進条例	平成30年6月20日

県産材の積極的な利用を推進し、森林資源の循環利用につなげることに

より、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図る。

名称・概要

上:議決年月日

下:施行年月日

平成30年6月25日

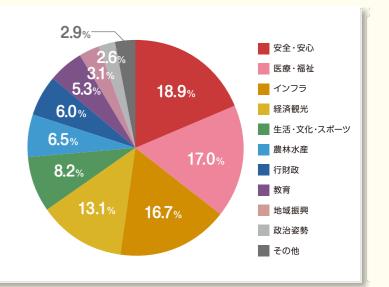
データで見る本会議・予算委員会

安全・安心や医療・福祉、インフラなど多分野にわたる論戦

平成30年第3回定例会の会期中に、計588問の質問が行われ、これを分類すると、右の円グラフの結果となりました。

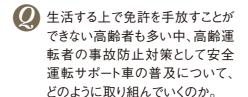
内訳の主なものとしては、質問が最も多かった安全・安心分野では「高齢運転者の交通事故防止」や「地域での子どもの見守り」、2番目の医療・福祉分野では「障害者雇用の促進」や「介護福祉人材の確保」、3番目のインフラ分野では「道路整備の促進」や「北陸新幹線の金沢以西開業に向けた取り組み」でした。

そのほか、経済観光分野や生活・文化・スポーツ分野など、多岐にわたる論戦を展開しました。



ピックアップ

高齢者の事故防止対策について



今回、安全運転サポート車を購入する高齢者に対する助成制度を創設するとともに、新たに安全運転サポート車の体験も行う高齢者向けの安全運転相談会を県内各地で開催する。より安全性の高い自動車の普及を促進することにより、警察をはじめ関係機関とも連携をしながら、高齢者による交通事故の防止に向けてしっかりと取り組んでいく。

子どもの安全確保に向けて

子どもを狙う犯罪は、人目につきにくい場所で発生することが多いと言われている。子どもの安全確保に向け、今後どのように取り組

んでいくのか。



これまで防犯パトロールなど地域の自主防犯活動を推進するとともに、防犯ボランティアの育成にも取り組んできた。これらに加え、地域防犯の専門家の指導の下、地域が一体となって地域安全マップを作成するモデル事業の実施を通じ、地域の防犯力の向上を図る。

県議会定例会・委員会での質問内容は、 県議会ホームページや議会図書室でご覧いただけます。

※県議会ホームページは「石川県議会」と検索してください。スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。



ごあいさつ

3月27日に就任した作野広昭議長と焼田宏明副議長からのあいさつを紹介します。

石川県議会議長 (第100代) **作野 広昭**

北陸新幹線の開業効果が継続する中、その効果をさらに県下全域に波及させるとともに、県民が安心して心豊かに暮らせる石川を未来へ引き継いでいくため、県議会の代表者として議会の円滑な運営に努め、県政の発展に全力で取り組んでまいります。



石川県議会副議長 (111人目) 株田 宏明

微力ではございますが、議長をしっかりとお支えし、議会の円滑な運営に努めるとともに、県政の発展に向け、精一杯取り組んでまいります。皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。





県民参加の森づくり(植林活動)

間伐後のスギ人工林

県産材を使った木造住宅

県産材の利用を促進し、 森林資源の循環利用につなげよう! 「石川県県産材利用促進条例」が施行

石川県の約7割を占める森林は、木材の産 出はもとより、県土の保全や水源の涵養、地 球温暖化の防止など県民の安全で快適な暮 らしの基礎となる多面的機能を持った県民共 有の貴重な財産です。さらに、戦後、植林され た人工林の多くが伐採適齢期を迎え、積極的 な利活用を図る段階へと大きな転換期に差し かかっています。

こうした中、県議会では昨年6月以降、議論 を重ね、「石川県県産材利用促進条例」を平 成30年第3回県議会定例会で全会一致により 可決しました。

同条例では、県産材利用促進のための基本 理念を定めたほか、県の責務や森林所有者、 林業・木材産業関係事業者、県民などの役割 を明らかにし、推進計画の策定、利用推進月 間の設定、功績者への顕彰の実施などを定め ました。これによりあらゆる主体が県産材の利 用促進を通じた森づくりの重要性を認識し、 森林の持つ多面的機能の持続的な発揮や活 力ある地域社会の実現を目指しています。

県議会でも、同条例の制定をきっかけに、森 林の整備や保全、県産材の利用促進に、より 積極的に取り組んでいきたいと考えています。



県議会議員紹介

今年3月の石川県議会議員 補欠選挙で3名の議員が当 選しました。







県議会の傍聴や見学ができます!

編集・発行/石川県議会(年4回発行) 平成30年7月24日発行

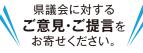
●點問Vist 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/

石川県議会



県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を 注いでいます。ご意見やご提言は、下記の E-mailからもお送りいただけます。 ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

qikai@pref.ishikawa.lq.jp